平成25年度 文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」

シティズンシップ育成をめざす教育改革

―東海大学におけるパブリック・アチーブメント型教育の挑戦―

2017年11月27日(月) 17:00-18:45

会　場：東海大学湘南キャンパス　テクノキューブ(19号館)1階カフェステーション

入場無料　申込不要

1 学長挨拶
東海大学学長　山田 清志

2 基調講演「シティズンシップ教育の今」
筑波大学人間系教授　唐木 清志

3 科目解説「現代教養科目におけるPA型教育」
現代教養センター所長　木村 英樹

4 専門報告「PA型教育を活かした実践的授業」
パネリスト
健康科学部社会福祉学科准教授　稗田 里香
国際教育センター准教授　西川 惠

コメンテーター
筑波大学人間系教授　唐木 清志

司会進行
現代教養センター准教授　堀本 麻由子

5 閉会挨拶
東海大学副学長　梶井 龍太郎

シンポジウムの様子は、代々木、高輪、清水、伊勢原、熊本、札幌の各キャンパスをテレビ会議システムでつないで配信します。

東海大学　To-Collabo 東海大学の地域連携 トコラボ　文部科学省 地(知)の拠点

お問合せ：東海大学 地域連携センター　0463-50-2406

主　　催：東海大学 現代教養センター／国際教育センター／教育支援センター／地域連携センター

シティズンシップ育成をめざす教育改革

―東海大学におけるパブリック・アチーブメント型教育の挑戦―

2013年度文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」に採択され、「To-Collaboプログラム」として積極的に地域連携活動を推進してきた東海大学では、その一つの集大成として2018年度からスタートする全学的なカリキュラムにおいて、パブリック・アチーブメント（PA）型教育を導入します。PA型教育の目的は、若者が社会活動を通して民主社会における市民性を獲得することであり、すなわち本シンポジウムのタイトルの『シティズンシップ育成をめざす教育』であります。

本シンポジウムでは、シティズンシップ教育について詳しい筑波大学の唐木清志教授をお招きし、シティズンシップ教育の意義についてお話しいただくとともに、学内関係者より2018年度から導入される東海大学の「現代教養科目・発展教養科目」（PA科目）についての解説、また専門教育の場においてすでに試行されているPA型教育を活かした実践的な授業についてご報告いたします。シティズンシップ教育に興味のある方、ならびに専門教育にPA型教育を活かしたいと考えられている学内外関係者の皆様は奮ってご参加ください。

基調講演ゲスト　**筑波大学人間系教授　唐木 清志**　Karaki Kiyoshi

筑波大学人間系教授。群馬県出身。筑波大学大学院博士課程教育学研究科単位取得退学。1995年より静岡大学に勤務、2003年に筑波大学へ異動、現在に至る。2007年、博士（教育学）取得。専門は、社会科教育、シティズンシュップ教育、サービス・ラーニング。「社会参画」をテーマに、研究を継続中。主著に、『アメリカ公民教育におけるサービス・ラーニング』（東信堂、2010年、単著）、『「公民的資質」とは何か』（東洋館出版社、2017年、編著）、「社会科における主権者教育：政策に関する学習をどう構想するか」（日本教育学会『教育学研究』第84巻第２号、単著）などがある。

パネリスト　**健康科学部社会福祉学科准教授　稗田 里香**　Hieda Rika

略歴：健康科学部社会福祉学科准教授　博士（社会福祉学）。
専門：精神保健福祉、ソーシャルワーク
活動：アルコール健康障害対策関係者会議委員、神奈川県アルコール健康障害対策推進協議会副会長ほか
著書：『アルコール依存症者のリカバリーを支援するソーシャルワーク理論生成研究：一般医療機関での実践を目指して』みらい、2017ほか

パネリスト　**国際教育センター准教授　西川 惠**　Nishikawa Megumi

東海大学　国際教育センター准教授
東京外国語大学卒業、コロンビア大学大学院修士課程修了
専門分野：英語教育学　第二言語習得論

お問合せ：東海大学 地域連携センター　0463-50-2406

東海大学　To-Collabo 東海大学の地域連携 トコラボ　文部科学省 地(知)の拠点